

経営比較分析表（平成29年度決算）

愛知県豊橋市 豊橋市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感へ災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
377,561	61,601	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

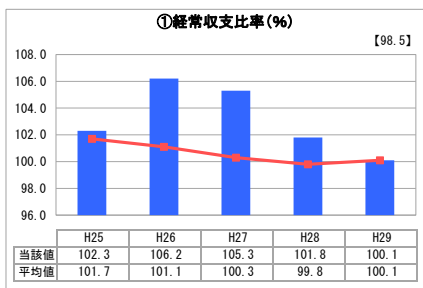
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
780	-	10
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	10	800
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
768	-	768

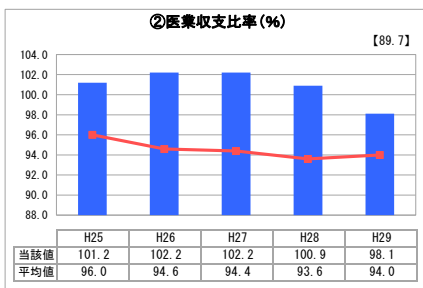
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

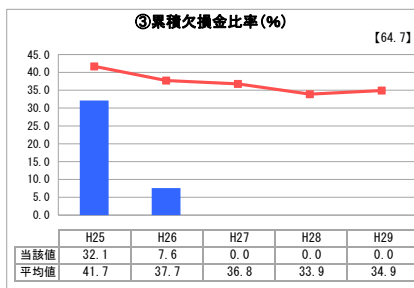
1. 経営の健全性・効率性



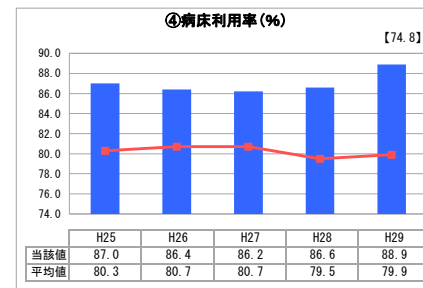
「経常損益」



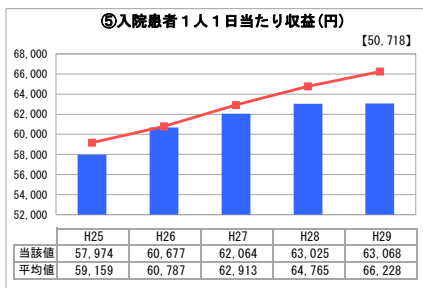
「医業損益」



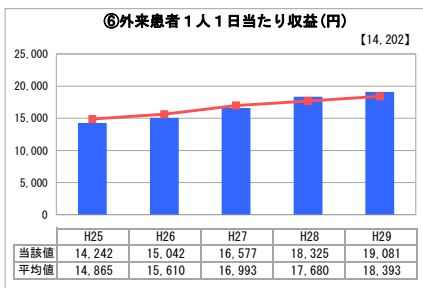
「累積欠損」



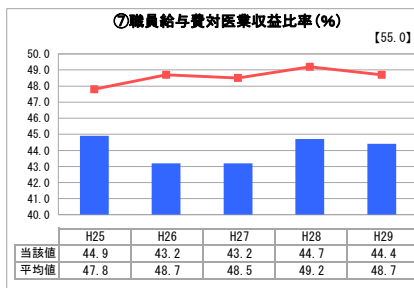
「施設の効率性」



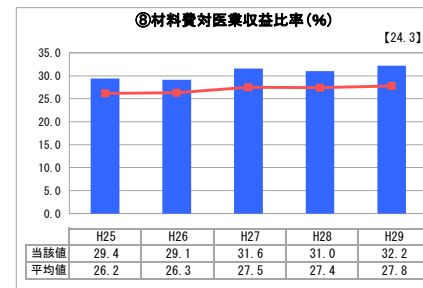
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

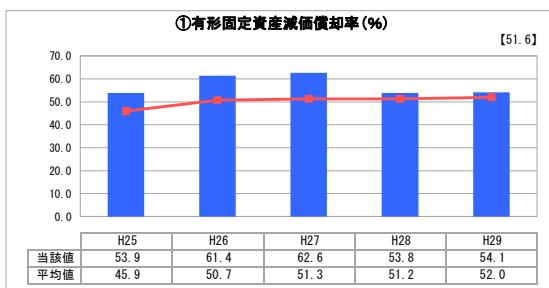


「費用の効率性①」

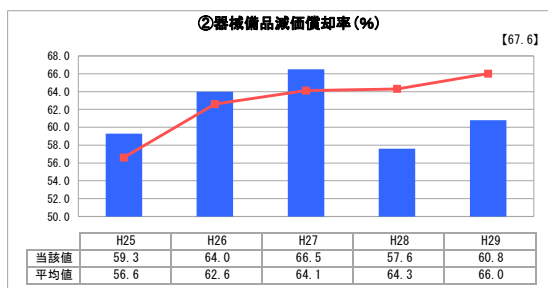


「費用の効率性②」

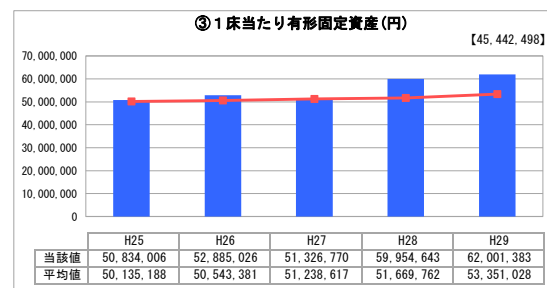
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

・当院は、救命救急センター・総合周産期母子医療センター等を有する東三河の中核病院として、地域完結型医療の一翼を担い、高度急性期及び急性期医療の機能を果たすことが当院の役割であると考えている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・薬品費及び減価償却費の増による医業費用の増加に伴い、②医業収支比率は前年度より低下してはいるものの、類似団体との比較では高い水準を維持している。

・④病床利用率や、⑥外来患者1人1日当たり収益は類似団体と比較すると高い一方で、⑤入院患者1人1日当たり収益は、類似団体と比べ低くなっている。これは、10月から外来治療センターを5床増床し、従来の入院治療から外来治療へ切り替えたこと等が要因として挙げられるが、さらなる入院単位の確保のためにも、入院支援体制を強化し平均在院日数の短縮を図りたい。

・⑧材料費対医業収益比率が類似団体と比べ高くなっている。これは、高度急性期医療を担うための支出と考えるが、今後も後発薬品の使用拡大や診療材料の購入価格抑制に努めていく。

2. 老朽化の状況について

・今年度は、平成28年度に整備した高度放射線線や特別高圧変電所に続き、当直室のリニューアルや外来治療センター等の拡張など、診療棟の内部改修を行うとともに、手術センター棟の整備に着手した。

・①有形固定資産減価償却率は、前年度に比べ0.3%増加している。今後も計画的な医療機器の更新や内部改修を行っていく。

・類似団体と比べ、②器械備品減価償却率は平均値より低く、③1床当たり有形固定資産は、平均値を上回っている。これは、高度放射線線棟の建設や内部改修など、近年の積極的な設備投資によるものと考えている。

全体総括

・平成28年度に整備した高度放射線線関連の償却開始等による医業費用の増加に伴い、経常収支比率は前年度を下回ったものの、支出の抑制等により、平成22年度から続く経常収支の黒字を維持することができた。また、当初赤字予定であった経常収支を黒字へ転換できたことから、効率的な経営を行えたと考えている。今後も、改革プランに掲げる東三河の中核病院としての役割を着実に果たしていくとともに、更なる経営基盤の強化に向けた一層の取組みを行う。

・平成28年度新公立病院改革プラン策定済。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。